

電子ジャーナルの利用について

電子ジャーナルの過剰アクセスやプログラムを利用した大量ダウンロードは著作権を侵害し、国際条約にも違反します。タイトルによっては個別に規制がある場合もありますので、必ず遵守して下さい。不正アクセスとみなされると、出版社によって本学全体の電子ジャーナルへのアクセスを一時遮断される事例が発生します。利用については以下の内容を理解し、適正な利用をお願いします。

【不正利用とは】

- ・東京理科大学構成員（教職員・学生等）及び図書館長が利用を認めた者以外が利用すること。
- ・個人の学術研究・教育目的以外で各論文をダウンロード、コピー、ハードディスク等へ保存及び印刷をすること。また、それを頒布すること。
- ・電子媒体で第三者に流通させること。
 - *ダウンロードした電子ジャーナルのデータを学外者等にメール送信することなどは違法です。
- ・大量のダウンロードやプリントアウト
 - ジャーナルの号全体や大量のデータを短時間にダウンロードやコピーすることは不正利用とみなされます。
 - *短時間におけるリロード

【大量ダウンロードとは】

- ・利用は「著作権法に準拠した範囲内」でお願いします。
- ・号全体を通覧する場合には、HTML形式の利用、またはabstractの参照を推奨します。
- ・「ダウンロード＝全文を読む行為」と考え、本文を読めないスピードで次々にダウンロードまたは閲覧する行為は不正アクセスとみなされます。
- ・特定ジャーナルへの系統的なダウンロードも不正とみなされる場合があります。

【使用するブラウザへの注意】

ブラウザの「リンク先読み機能」により、バックグラウンドで利用者の意図しないアクセスが行われ、大量ダウンロードと受け取られることがあります。以下のブラウザは次の設定で無効とすることが可能です。

Edge

[設定]—[詳細設定]を開き、「ページ予測を使って閲覧速度の向上、読み取りビューの改善、全体的な使用感の向上を図る」をオフにする

Google Chrome

「予測サービスを使用してページをより迅速に読み込む」をオフにする。→ [Google Chrome ヘルプ](#) (リンク先：
<https://support.google.com/chrome/answer/1385029?hl=ja>)

(ヘルプページ内容は「ステップ 5: ページのプリフェッチが有効になっていることを確認する」になっていますが、リンク先読み機能の無効化のためには「予測サービスを使用してページをより迅速に読み込む」の項目の部分を「オフ」にしてください)

FireFox

URL 欄に「about:config」と入力してコンフィグ画面を開き、「network.prefetch-next」を「false」にする。

[→ FireFox ヘルプ「Firefox が勝手にインターネットに接続する」－「リンクの先読み機能」](#)

(リンク先：<https://support.mozilla.org/ja/kb/how-stop-firefox-automatically-making-connections>)

Internet Explorer 11

[インターネットオプション]－[詳細設定]を開き、「ブラウズ」中の「パフォーマンスを最適化するためにサイトとコンテンツをバックグラウンドで読み込む」のチェックをはずす。

【文献管理ツールの利用】

・文献管理ツール EndNote へのフルテキストダウンロード機能 (EndNote Full Text 等) を使用すると大量ダウンロードとみなされることがありますので、ダウンロードする数に注意する。

※文献管理ツールのフルテキストダウンロード機能 (EndNote の Find Full Text 等) の使用により、大量ダウンロードとみなされることがあります。フルテキストダウンロード機能を使用する際は文献の数にご注意ください。

【アクセスが遮断された時の連絡先】

どのキャンパスからの遮断であっても以下の連絡先にご連絡下さい。

| | | |
|--------|-------|----------------------|
| 図書館事務課 | TEL | 03-5228-8133 |
| | email | libk@admin.tus.ac.jp |

【不正アクセス者への処置】

・不正アクセスによる電子資料への遮断が生じた場合、調査を行い図書館は不正利用者に対し相応の処分を行うことがあります。

2017/04/01